

市民がまもる生物多様性 フォーラム

～ 仲間の集め方・活動の伝え方～

生物多様性を守る活動を進めるには、多くの人々の協力が必要です。本フォーラムでは、様々な地域の人々の協力を得ることで、貴重な動植物を守っている2つの実践事例をご紹介します。「生物多様性」を守る取り組みの、効果的な伝え方について考えます。ぜひご参加下さい。

プログラム:

基調講演

14:05~14:35

自然を守るための仲間の集め方・活動の伝え方

(財) 埼玉県生態系保護協会 ● 事務局長 堂本 泰章 氏

事例紹介 1

14:35~15:00

園児から大人までが集まる！～寄付・ボランティアの募り方～

おおたかの森トラスト ● 代表 足立 圭子 氏

事例紹介 2

15:00~15:25

磐田市を「トンボのまち」に！～地域の宝の伝え方～

NPO 法人 桶ヶ谷沼を考える会 ● 副理事長 今村 信大 氏

パネルディスカッション 15:40~16:10

仲間を集め、理解を得るためのポイント

コーディネーター：(財) 埼玉県生態系保護協会 事務局長 堂本 泰章 氏

パネラー(順不同)：

- | | |
|--------------------|--------------|
| ・ おおたかの森トラスト | 代表 足立 圭子 氏 |
| ・ NPO 法人 桶ヶ谷沼を考える会 | 副理事長 今村 信大 氏 |
| ・ うじいえ自然に親しむ会 | 会長 加藤 啓三 氏 |
| ・ 赤城姫を愛する集まり | 副会長 松村 行栄 氏 |



関東地方12の
取り組みを紹介したパン
フレットを配布します！

日時：平成22年 **12月4日(土) 14:00~16:15** (受付開始 13:30)

場所：さいたま共済会館 第2ホール (JR 宇都宮・高崎・京浜東北線 浦和駅より徒歩10分)

対象：生物多様性に興味のある市民・市民団体関係者等

参加費：無料

申し込み：FAX または E-mail にて申込み (裏面の申込書参照)

定員：100名 (申込制・先着順)

主催 関東地方環境事務所



事例紹介者・パネラーのご紹介

(財) 埼玉県生態系保護協会 事務局長 堂本 泰章 氏

約 30 年にわたり、多くのボランティアと共に自然を守る活動を展開している。県の自然観察公園の運営責任者も務め、乳児から高齢者までが自然を守る活動に参加できるような仕掛けづくりも進めている。

おおたかの森トラスト 代表 足立 圭子 氏

埼玉県西部のオオタカの棲む平地林を守るため、市民によるトラスト活動や、年間 150 回以上におよぶ平地林の管理活動を実践している。活動には地元の園児から大人まで、幅広い参加がある。

NPO 法人 桶ヶ谷沼を考える会 副理事長 今村 信大 氏

貴重なトンボの生息地である桶ヶ谷沼を守るため「沼を市民の心の中に」と沼の重要性を呼びかけた結果、磐田市民の 70% が「トンボのまち」と認識するほど、沼のトンボを地域のシンボルとすることに成功した。

うじいえ自然に親しむ会 会長 加藤 啓三 氏

鬼怒川中流域の栃木県さくら市で、多くの市民ボランティアの協力を得ながら、絶滅のおそれのあるシルビアジミをシンボルとした砂れき河原特有の生態系を維持する活動を展開している。

赤城姫を愛する集まり 副会長 松村 行栄 氏

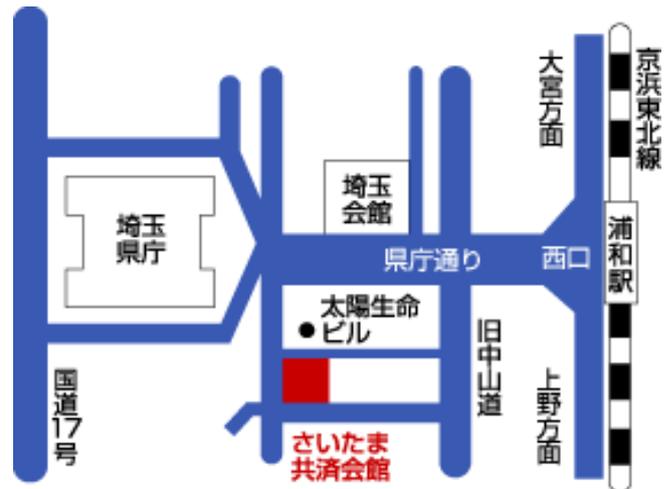
関東地方では赤城山にしか生息しない貴重な蝶「ヒメギフチョウ」を守るため、地元の市民や小学生等と協力しながら、調査やパトロール、生息環境である落葉広葉樹林の再生活動等を進めている。

会場アクセス

さいたま共済会館 第 2 ホール

(さいたま市浦和区岸町 7-5-14)

JR 宇都宮・高崎・京浜東北線 浦和駅 徒歩 10 分



申込方法 参加申込書に必要事項を記入し、**FAX**または**E-mail**にてお申し込み下さい。

申込み・問合せ先 (財)日本生態系協会 埼玉フォーラム係 (TEL : 03-5951-0244)



バーコードリーダーで E-mail アドレスが読込できます

参加申込書 市民がまもる生物多様性フォーラム ～仲間の集め方・活動の伝え方～ (12/4)

フリガナ
お名前

ご所属

TEL

FAX

E-mail

※ 折り返し参加証を発行し返信いたしますので、当日受付でお示し下さい
※ 申込のためにお知らせいただいた個人情報は、本イベントの連絡以外には使用いたしません